

1 指導概要

教 科		科 目			
体育		体育 I	単位数： 3 単位		
指導目標：体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。					
(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。					
(2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。					
(3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
メディア視聴		事情に応じて許可（東京書籍） ①視聴講座を 100%視聴 ②確認テストクリア	60%	教科書	大修館書店「現代高等保健体育」
スクーリング		1 単位時間×15 回	合格時間数 15 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート		全 3 回	合格枚数 3 枚	副教材	サブテキスト
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)		レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ		第 1 回 (6/10)	第 1 回	・スポーツがどのように世界中に広まったのかを理解する。 ・多様なかわり方によるスポーツ文化を理解する。
	オリンピックとパラリンピックの意義			第 2 回	・オリンピックの価値やパラリンピックの意義について理解する。
2	スポーツが経済に及ぼす効果		第 2 回 (9/9)	第 3 回	・スポーツの発展や経済への影響についてして理解する。
	スポーツの高潔さとドーピング			第 4 回	・ドーピングについて理解する。
	スポーツと環境			第 5 回	・スポーツが環境に影響していることについて理解する。
3	球技・卓球		第 3 回 最終提出日： (11/11) 提出予備日： (12/9)	第 6 回 第 7 回 第 8 回 第 9 回	・卓球の基本技能やルールを習得する。 ・ゲーム形式で自己の技能を発揮し、仲間と協力できる力を身に付ける。

	球技・バスケットボール		第10回 第11回 第12回	・バレーボールの基本技能やルールを習得する。 ・ゲーム形式で自己の技能を発揮し、仲間と協力できる力を身に付ける。
	球技・バレーボール		第13回 第14回 第15回	・バスケットボールの基本技能やルールを習得する。 ・ゲーム形式で自己の技能を発揮し、仲間と協力する力を身に付ける。

2 評価の観点

知識・技能	テストの結果で評価します。
思考・判断・表現	レポートの最終問題で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	スクーリング時に取り組む姿勢や、成果物で判断します。 ※メディア視聴の成果もこの観点で評価します。

3 評価の方法

上記の観点に基づき、年度末に5段階で評定を出します。 【知識・技能】テスト結果(7割) 【思考・判断・表現】レポート最終問題(2割) 【主体的な態度】スクーリングの時の成果物(1割)
--

4 担当者からのメッセージ

体育Ⅰでは、スクーリングへの出席(取り組む姿勢)、レポートの提出(レポートの内容)、試験結果を総合的に判断し、評価します。体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方などを理解するとともに、実生活に役立てること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び体づくり運動に主体的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるよう体を動かしていきます。スポーツ等の安全に配慮したうえで、ルールを理解し、教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。
